

# 新運転 結成55年！ 組合員増・労供事業拡大に向かってゴー！

昨年未だに中小企業の景況感が上がったと報道されたが、労働者への労働分配は一時金に止まり、全労働者の38%強を占める

新年明けましておめでとう御座います。組合員の皆さんには穏やかな天候に恵まれたお正月を過ごされたことと思います。世間では一部とは言へ、アベノミクス効果で景気も良くなり、ボーナスもたつぷりと貰い、懐も暖かく迎えたお正月と思いますが、残念ながら小生を含め、周囲の誰一人として、そのような恩恵を蒙った人達を見たことはない。

安倍内閣は政労使会議において今春闘での賃上げ要請を行ったが、同時に労働法の改悪も目論んでいる。新自由主義による規制緩和も表明しており、使い捨て同然に使用される労働者、取り分け派遣やパート、アルバイトで働く労働者にその被害が及ぶことは自明の理であろう。中小・零細企業に働く未組織労働者達の労働環境の改善や規制緩和による劣悪な労働条件を強いられる者達を我々が労供労組に結集させることが重要な責務と肝に銘じている。



執行委員長  
白土武裕

2042万人の非正規労働者の年収と正規労働者との平均を対比させると300万円もの格差が見られる。

さて関西の概況であるが、主力とする生コン関係の昨年の現状は、大阪市内地域における大型再開発事業の終了もあり、出荷量が低迷した。加えて生コン販売価格の値戻しが進まず、セメントや生コン材料の値上がり等で収益が悪化し、広域協組に加盟する企業の倒産、廃業で労供実績が低下したが、担当役員や組合員の協力もあり複数社と新規協約が締結することができ、当初数名の需要が年末時では連日、供給人員不足に陥るほど需要が続伸した。

安倍政権のバラマキ公共投資に対しては舐ねたる思いがあるが、広域協組未加盟事業社の出荷量は右肩上がりに伸長し、新運転に対し供給要請が年末以降増加しており、運転者不足は我われだけに止まらず運送関



関西地本  
〒536-0016 大阪府大阪市城東区蒲生1-8-11  
TEL 06-6931-5251  
FAX 06-6931-5257

## 関西地本

東京地本を初め全国の仲間の方へ、改めて新年のご挨拶を送らせて頂きます。私は、昨年秋に行われた第58回定期大会において東京地本の執行委員長に選任されました。今年、結成から55年という節目を迎えるわけですが、確か初代の柏原委員長から数えて私が6人目となると思います。その柏原初代委員長と現中央委員長の篠崎庄平氏、飛

## 東京地本



執行委員長  
草薙脩二

田正氏にはずいぶんお世話になりました。私が新運転に加入したのは昭和44年、結成が

## ！二〇一四年度 年頭所感

ら丁度10年の年でした。それからタクシー、生コン、一般トラック、そして清掃と今労働協約を結んでいた業界の中で、結成から55年という節目を迎えるわけですが、確か初代の柏原委員長から数えて私が6人目となると思います。その柏原初代委員長と現中央委員長の篠崎庄平氏、飛

同じ数字の年に委員長に選任いただいたことに不思議な縁を感じています。それから40年以上が経つ中で、1次、2次の石油ショック、バブル景気と崩壊後今日まで続くデフレ経済など、実に多くのことがありましたが、この10数年で私たちは様々な問題を抱えてきました。

今や東京地本の主要供給先となっている清掃事業は、都から区への事業移管から13年が立つ中で多くの問題が露呈してきました。生コンは公共事業の削減に伴う業界再編が進む一方、東京オリンピックや消費税の前倒し需要などで運転手不足が深刻化しています。一般トラックはデフレ経済による運送料金の低下で供給契

約打ちりが続出、タクシー業界は行過ぎた規制緩和に伴う過当競争、營收減と組合員の高齢化など、これとつても一筋縄ではいかない難問ばかりです。デフレ脱却、成長戦略という「アベノミクス」を標榜して大企業中心の利益誘導を進めている安倍政権に期待することは出来ませんが、この4月からの消費増税を前に連合、交運労協の春闘方針も久しぶりのアベ

## 滋賀地本



執行委員長  
楠 真一郎

ど改悪が懸念され、さらには消費税増率引き上げなど、今後私たち勤労者にとって負担が重く押し掛かり、家計に大きな影響を与えようと考えられます。

新年あけましておめでとうございます。昨年、定期大会で委員長に就任し初めての新年を迎え、引き締まる思いであります。改めて日頃より運動を支えていただいている皆様にご利用の場を借りてお礼を申し上げます。

民主党がこれまで目指してきた「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立つ政治から、企業の税制優遇や企業が動きやすい労働法制への転換など大企業本位の政治へ逆戻りし、特に勤労者が大きな影響を受ける労働法制においては、労働者派遣法の規制緩和や、限定正社員制度の導入、解雇要件の自由化な

消費増税の駆け込み需

## 埼玉地本



執行委員長  
折井洋之

話を聞いていますと、昨年にも増して景気が良くなると予想している方が大半であつたように

新年明けましておめでとうございます。正月気分がなかなか抜けない時期ではありますが、ここ埼玉地本は年初より労供も順調な滑り出しとなつており、日々配車に追われる日々となり、そんなことは喜ばしい限りだと思つております。このところ厳しい寒さが続いておりますが、皆さまも体調管理に留意され本年も無事故で就労に当たつて下さい。

さて、今年の賀詞交歓会などでの各企業のトップの

要、また組合員減少による受給調整の低下などで忙しく動きましたが、事業所に対しても潤沢に供給出来なく迷惑をかけており、また組合員においても十分な休息も無く、供給事業として機能していませんでした。急激な需要増加や人員不足に

新運転滋賀は、まだまだ小さいですが「小さいからこそまとまり易い」という利点を生かし攻めて行き、新規事業所の開拓、異業種への進出、組合員増員の取組みに向け執行部一丸となつて進んでいきます。

と、私たち労働者の中でこの好況感を実感できている者はまだまだ一部ではないでしょうか。

私たちが働く運送業界にあつては景気が悪くなればいち早く打撃を受け、景気が上向いてもその恩恵を受けるのは常に最後であり、円安による燃料の高騰などあつて依然として厳しい状態にあると感じております。しかしながら、そのような苦境に立っている運送業界であつても運転手不足がこのところ顕著に表れており、現在私どもも新運転に頼つてくる事業所が増えきております。需要を満たせるだけの組合員を揃える事が喫緊の課題ではあ

各地本の諸先輩の皆様におかれましては、幸多き一年になることを心より祈念し、併せて旧年に勝るご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いし新年のご挨拶いたします。

滋賀地本  
〒525-0005 滋賀県草津市木川町字神保848-1  
TEL 077-567-5564  
FAX 077-567-5562

## 沖縄の正月祝い！

沖縄での労供事業立ち上げを支援し、業界新運転の旗を立てるべく活動して5年目を迎え、旧正月を祝う1月31日を前に朗報が届いた。つばみりエオオの友人から沖縄の労供事業立ち上げを祝う労働者が複数以上出ました。沖縄県で労供事業の魁として、ボロボロしています。とつばみり、辺野古新基地建設阻止を掲げた稲積氏が名護市長選挙で圧勝し、仲井真知事と安倍政権の正月祝いに泡一泡吹かされたことだ。



りますが、組合員の加入促進を図るうえで貴重な労働条件の更なる向上を目指し、組合の拡大発展を加速させる一年にしたいと思つております。本年も埼玉地本の発展のため組合員一丸となつて頑張つていく所存でありますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い致します。年頭の挨拶とさせていただきます。

埼玉地本  
〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町4-2-19  
TEL 048-829-7056  
FAX 048-829-7057